開催日時	平成22年11月26日(金) 午後2時40分~午後4時10分
開催場所	滝川市役所3階301会議室
出席状況	【委員】 出席:岩本委員長、石井副委員長、奥村委員、加藤委員、中村委員、水戸委員、伊藤 委員、木村委員、 欠席:小野委員、久保田委員 【滝川市】
	市民生活部くらし支援課 深瀬課長、橋本主査
議事内容	1 開会
	2 年次報告書の修正及び公表について 前回会議で、データの取り方等について確認が求められた点を再点検し、資料2の とおり、修正して年次報告書の最終版として公表したことを報告した。
	3 前回会議での質問・意見等について 前回会議で出された主な質問や意見等及びその対応策等について、資料3のとおり 整理し、報告した。
	4 評価報告書の作成に向けた意見交換 ○ごみ排出量やリサイクル率について、集団資源回収の回収量が落ちてきているが、 これは参加する団体数が減ってきているのか? →20年度が158に対して21年度は166なので、団体数としては減ってはいないことにな る。
	○集団資源回収のほとんどは町内会として行われているが、町内会自体、高齢化が進んでおり、なかなか作業する担い手がいなくなってきたり、回収への参加意識というのも薄くなっているという状況はあるようだ。回収の頻度も落ちてきたりして、その間に燃やせるごみとして出してしまったりということもあるのかもしれない。 →集団資源回収については、例えばいくつかの団体の実績をピックアップして、年ごとの推移がどうなっているのかなどを調べてみると、ある程度、傾向が見えてくるかも知れないので、そのあたりを調べて、次回にご報告したい。
	○何らかの理由で集団資源回収に出す紙が減り、それが可燃ごみに流れてしまい、ごみ排出量が増えてしまっているのか、その対策として今年から始まった資源ごみの一つとして加わった古紙の分別収集の効果がどのように出ることになるのかを注視していく必要がある。
	<ul><li>○ごみの減量化もある一定のレベルまで達すればそれ以上はなかなか難しいと思うが 、滝川もそういう状況にあるのではないか。</li></ul>
	○今のシステムになって年数が経つにつれて、マンネリ化しているということがある のかもしれないので、少し変わった方法を試してみる等の工夫が必要かも知れない。

○例えば、全国的にみると、ある自治体などでは、これまでのように資源ごみの処理 手数料を安くして、あるいは無料にして資源として分別させるような誘導では、単に ごみの種類の振り替えに過ぎず、本当の意味でのごみの量の徹底した削減にはつなが らないということで、資源ごみの処理手数料も一律に値段を同じレベルに設定してい こうというような議論も進められている。リデュースやリユースを促進しようという メッセージを市民に向けて発信することになるが、一方で不法投棄だとかスーパーな どへの排出が増える恐れもあり、難しい面もある。

○家庭系ごみについてはこういった目標があるが、事業系ごみについては何らかの目標をもつようなことはしないのか?

→事業系ごみの排出量というのは、ある種、経済活動と連動している面もあるので、 それを抑制するような目標というのは、なかなか難しいという面はある。

○ただ、家庭系だけにこういった目標を設定し、事業系を放っておくというのではなく、事業系に対しても、例えばリサイクル率を上げるだとか、何らかの取組を求めるような目標設定が必要ではないか。

○道の目標をみると、家庭系1人・1日あたりのごみ排出量が600グラムということでいけば、滝川市は資料4から589グラムなので、これをもっと突き詰めることよりも、ポイントとしてはリサイクル率をどうしたら上げていけるのかということに力点を置いて取り組んでいくことがよいのではないか。

○自分の家のごみを調べてみたことがあるが、ごみの内訳として最も多いのが包装である。生ごみなどは捨てずに料理法などを工夫するなどしてなるべく減らす努力ができるが、個人レベルで包装を減らすことは難しい。店側の過剰包装の自粛・抑制の意識が働いていないように思える。事業者に対する働きかけが必要ではないか。例えば地域の同業者同士が連携して、滝川スタイルの包装のあり方やリユースが可能なパッケージだとかを考えてみるのも一つのアイデアだと思う。

○店によっては、申し出れば簡易包装で済ませてくれるところもあるかとは思うが、 必要に応じて、そうした選択ができる仕組みがあれば良いと思う。

→そういった試みは事業者や消費者協会、市などが連携して話し合いながら、進めていくことは可能であると思うので、ごみ減量化対策としての一つとして、検討していけないか関係者と協議を進めていきたい。

○天ぷら油の燃料化についてのPRが弱いような気がする。今後、例えば年数が経てば、装置の寿命といったこともありうるかと思うが、それで壊れてしまったから止めるというのではなく、細々でも続けていってほしいと思う。

※この場ですぐに意見が出せない場合も踏まえ、別途配付した「評価・提言 意見集約シート」に記載していただき、1週間以内に提出していただくこととした。

## 5 基本計画の見直しに関する意見交換

○今回の基本計画の見直し作業の中味というのは、数値目標の見直しだけになるのか ?計画そのものの中味やその進捗状況などについて、やはり改めて点検する機会を設けた上で、議論すべきではないか。

→この計画を実現に誘導するためのツールとしての数値目標があるが、大枠の4つの

「物語」の内容や方向性をそのままとすることであれば、結果として数値目標だけが 見直されるということもあり得るが、計画そのものについての意見等についてもいた だき、その上で見直しの議論を進めていくこととしたい。次回以降、その辺りの議論 を進めていただくことで考えたい。

## 6 その他

・次回開催日程等について

## 7 閉会